

IV 事業概要

5 情報ネットワーク・広報・出版

(1) コンピュータシステム

①概要

当館における利用者向けのコンピュータシステムは、主に次の3つの用途が挙げられる。

- (ア) インターネットによるデータベースサービスおよびインフォメーションサービス
- (イ) 中学生を対象とした実験指導への利用（学校教育事業）
- (ウ) 一般向けの開放講座等への利用（生涯学習事業）

②インターネットによるサービス

平成8年に開設した当館のホームページは、必要な情報を随時更新できる体制を整備し、事業展開上の重要な情報媒体として機能している。

主なコンテンツは、科学館の事業を紹介するインフォメーションサービスと、各種データベースサービス〔自然史図鑑（動物、植物、化石、岩石、鉱物）、化学薬品、生物図鑑、衛星雲画像、気象観測ネットワークなど〕であり、一般の利用はもちろん、小・中学校を中心とした学校教育の場での活用を視野に入れた構成としている。

平成23年12月に科学館ホームページのトップ画面を含む修正を行った。画面は下記の通り。

スリーエム仙台市科学館
ふれる科学。ためす科学。

HOME > 科学館について > アクセス・入館料等 > 展示ガイド > イベントガイド > 団体向け案内

ご利用案内

開館時間 9:00～16:45まで
(ただし、入館は16:00まで)

休館日 毎月第4土曜日
(12月、休日は除く)

休館日 (祝・休日の場合はその翌日)
祝・休日の翌日
(土・日曜日を除く)

年末年始 (12月28日～翌年の1月4日まで)

※詳細については [休館日カレンダー](#)をご覧ください。

入館料 一般 300円 (400円)
高校生 300円 (250円)
中・小学生 200円 (100円)
(13歳以上の子供)

■ [詳細はこちら](#)

●仙台市は、仙台市科学館の名称に係る施設命名権に関し、住友スリーエム株式会社と協定を締結しました。
平成25年6月1日より新たな名称「スリーエム仙台市科学館」での運用を開始します。

トピックス

本日[04月02日(水)]の予定 [→ 明日へ](#)

| イベント・施設名 | 時間 | 会場 | 備考 |
|--|----------------------------|-------------|---|
| 震災復興・国立科学博物館 コラボミュージアムin仙台 「アロサウルスがやってきた！」 | 終日 | 3階エントランスホール | 国立科学博物館所蔵の恐竜アロサウルスの実物全身骨格を展示します。 |
| 新展示 「被災ミュージアムの再開に向けて」 | 終日 | 3階生活系展示室 | 震災で被災した「歌津帯電話」と「おしか小エールランド」に収録していた自然史資料を展示します。 誰でも楽しめる簡単な実験や工作を体験できます。 |
| チャレンジラボ | 10:30～11:30 14:00～15:00 | 3階生活系展示室 | メニュー「アロサウルスを飛ばそう」「ホログラムカード」 |

③ネットワークシステム

館内のネットワークは、展示系、実験室系、業務・管理系、に大別され、独自のファイヤーウォールによってセキュリティーを確保するとともに、幹線が破断した場合に備えた二重化が図られている。また、回線速度は、1Gbps の光ファイバーを幹線とし、館内のどの端末においても100Mbps を確保している。

展示系は主に一般来館者が使用するシステムである。ここでは、来館者が顔認識システムを備えた端末を利用し、館内各所でクイズに答えていく“科学館探検”や、展示物に関する問題を集めたマークシート課題を自動採点できるシステム、独自開発のゲームプログラムなどを提供している。

主に学校教育や生涯学習事業で活用する実験室系のシステムは、4つの実験室それぞれにおけるサーバ・クライアントシステムを確立させ、複数の端末を利用する各種実験プログラムをサーバ機で一括管理できる構成としている。

その他、仙台市の教育情報ネットワーク“edu-net”にも接続し、市内の複数校に設置した気象観測システムからのデータ受信なども可能としている。

④館内公衆 WiFi

平成 29 年 7 月に Sendai Free WiFi を導入し来館者が無料でインターネットにアクセスできる環境を提供している。29 年の特別展「科学捜査展」ではこの WiFi を活用してタブレット操作体験を行った。

